「第 8 回尿路結石症全国疫学調査：総数調査」

１．研究の対象

2025 年 1 月～2025 年 12 月に当院で尿路結石症と診断された方

２．研究目的・方法

日本における尿路結石症の疫学調査は 1955 年から約 10 年ごとに過去 7 回実施されています．2005 年の疫学調査までは，尿路結石の発生率は年々増加していましたが，2015 年に実施された第 7 回疫学調査では増加傾向が横ばいとなっていることが報告されています．前回の調査から 10 年を経過し，2025 年に全国の参加機関が共同で第 8 回尿路結石症全国疫学調査を行い，この 10 年間の尿路結石症の発生率の変化を観察することを目的とします．

総数調査及び個別調査とは独立した追加解析（Post hoc 解析）として，既存の集計情報を用いて，人口構成の違いをそろえた患者の割合とその変化，年齢・調査時期・生まれた年代による違い，全国の患者数を推計する方法を検討します．厚生労働省が公表する匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の集計表も利用します．

追加解析のための新たな診療情報の収集は行いません．追加解析の目的，利用する情報及び利用停止の申出方法の詳細は，別紙「既存資料を用いた追加解析 1～4 に関するお知らせ」に記載します．追加解析における情報の利用は，変更審査の承認及び研究機関の長の実施許可後に開始します．

研究期間：研究機関の長の許可日　～　2027年12月31日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別，年代（10 歳区切り），部位別，結石既往歴（初発/再発）

試料：なし

４．外部への試料・情報の提供

本研究は多施設共同研究であるため，データセンター（金沢医科大学泌尿器科学医局（日本尿路結石症学会事務局））へのデータの提供は、電子的配信により送付され，研究責任者が保管・管理します．対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します

提供を開始する予定日:2025 年 1 月．

５．研究組織

金沢医科大学　宮澤克人ほか

第 8 回尿路結石症全国疫学調査参加機関：別紙 1 参照

第 8 回尿路結石症全国疫学調査に情報の提供のみを行う施設：別紙 2 参照

第 8 回尿路結石症全国疫学調査ホームページ　https://plaza.umin.ac.jp/~jsur/

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて 患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承 いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所　〒879-5593　大分県由布市挾間町医大ケ丘 1-1

電話　097-586-5893

責任者：大分大学医学部附属病院　腎臓外科・泌尿器科　講師　井上　享

研究代表施設：金沢医科大学

研究代表者：金沢医科大学　泌尿器科学　宮澤克人（日本尿路結石症学会　理事）